

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年10月20日

【評価実施概要】

事業所番号	0290800036		
法人名	医療法人光和会		
事業所名	にこにこハウス金曲		
所在地 (電話番号)	〒035-0041 青森県むつ市金曲3-5-29 (電話) 0175-23-1660		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年9月8日	評価確定日	平成21年10月20日

【情報提供票より】(平成 21年 8月 5日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 14年 3月 25日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	17 人	常勤 15人, 非常勤 2人, 常勤換算 4.2人	

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	1 階建ての 階 ~ 1 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,000 円	その他の経費(月額)	冬期12,000 円
敷 金	有(円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	400 円	昼食 400 円
	夕食	400 円	おやつ 200 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(8月 5日現在)

利用者人数	9 名	男性 0 名	女性 9 名
要介護1	1 名	要介護2	5 名
要介護3	1 名	要介護4	0 名
要介護5	2 名	要支援2	0 名
年齢	平均 84.1 歳	最低 76 歳	最高 92 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	みどりがおか歯科
---------	----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

住宅街に立地していることを意識して、地域との関わりや交流を深めようと努力しており、成果も着実に現れている。会議録や研修内容、日常のケアに関する記録が効果的に整理されており、きめ細かい利用者の支援に繋がっている。自ら新たな課題を掲げ、課題解決に向けた取り組みを行っていることが伺える。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	同業者との交流が管理者だけでなく、他事業所の職員が実際に見学に来て話しをするなど、職員も交流する機会を持てている。さらに深い交流を求めて検討中との事で意識の高さがみうけられる。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目	自己評価をする際に責任者が職員の意見を聞き取り、外部評価を実施する意義を理解出来るよう働きかけしている。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	2ヶ月に一度開催し地域住民・家族・行政との連携を円滑にする取り組みを実践している。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)
	来訪時に生活の様子を伝えるだけではなく、ケアプランを通して家族の意向や意見を取り入れている。また月に一度、お小遣いを預けにくよう働きかけ、家族の足がホームに向くよう工夫している。
	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	町内会に入会し回覧板・地域行事を通して地域と交流を図っている。町内のねぶたの運行時には、休憩所として場所を提供することで地域住民と接する機会を設けている。防災訓練時には地域住民に実際に訓練に参加してもらうなど意欲的に地域と関わっている。

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者や家族、職員、地域の方など誰にでも分かりやすい理念を掲げ、目に付きやすい場所に大きく掲示してある。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	目にしやすい場所に掲げられていることで、日常的に利用者、職員が理念を共有し、毎日の声掛けなどにより実践されている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	○隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	事業所が近隣町内の子供ねぶたの休憩場所として定着しており、利用者も楽しみにしているほか、駐車場は開放され子供たちの遊び場になっている。また、近くの幼稚園との交流を模索するなど、自然な形で地域との交流を着実に深めている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員の分担により作成されており、意義や結果についても職員会議などにより情報の共有化がなされている。		
5	6	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者の家族、民生委員、地域包括支援センター、理事長で構成される運営推進会議が定期的開催され、出された意見を会議録に保存すると共に、日常業務に反映している。		
6	7	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議での交流を活用し、会議以外でも疑問点について担当者と掛け合い問題解決に取り組んでいる。		
7	8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	サービス利用者はいないが、勉強会などにより制度の内容や意義について学ぶ機会を設けている。		
8	9	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部研修後の勉強会や勉強会の記録、冊子等の回覧など日常的に防止に努めている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時や内容の変更時など十分な説明を行っている。 また、最近では重度化した場合の対応や方針など契約者が納得できる説明を心がけている。		
10	12	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、金銭管理の報告をしているほか、生活の状況についても報告がなされている。また、看護記録の報告が家族の安心に繋がっている。		
11	13	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議や面会時を通じて家族の意見や要望が日常のケアに反映されている。		
12	16	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ほぼ、固定された職員ローテーションで行われており、臨機の応援も隣接の施設職員によって行われ、利用者への配慮がなされている。異動があった場合は、きちんと家族へ説明し、不安のないよう配慮している。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修によるスキルアップの方針が定まっており、月に1回勉強会を開催している。勉強会の記録の閲覧や外部研修の報告会などにより研修成果の周知、共有が実践されている。		
14	18	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	以前は管理者だけの交流であったが、他事業所の職員を自分の事業所に招き見学してもらい話しをすることで職員とも交流する場を設けている。今後もより深い交流を企画中との事でサービス向上の為の意識の高さがみうけられる。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者や家族の意向を踏まえ、利用者がこれまでに大切にしていたものを持ち込み、利用者の在宅生活とのギャップがないよう配慮されている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は理念を理解し利用者と共に支え合う支援をしている。ただ支援するのではなく、利用者のペースに合わせる事・自立支援に向けてケアする事を取り組んでいる。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者一人ひとりの思いを把握するためにセンター方式を取り入れている。プランを検討する際はスタッフ間で情報を共有し合い、その人らしい暮らし方を話し合っ てケアに生かしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	計画作成に当たっては、本人や家族、職員の同席のもと、それぞれの意見が反映された利用者本意の計画が作り上げられている。		
19	34	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	センター方式の活用に取り組んでおり、家族や担当者の意見や看護状況を取り入れ、自立支援に繋がるような計画の作成に努めている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療的な連携が活かされており、併設施設との交流により楽しく安心できる環境が整えられている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療機関、家族との連携のほか、常勤の看護師が臨機応変に対応している。		
22	44	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に十分な説明と話し合いをし、終末をどう過ごすか家族と方針を共有している。		
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	○ プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	会議や連絡を通じて、書類の管理や利用者との日々の関わりの中でプライバシーへの配慮が行われている。		
24	49	○ 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々のペースや体調に配慮し、自立支援の観点から見守りや促しに重点をおいた支援を心がけている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	事前の嗜好調査や医療的な配慮のほか、会話がはずむ座席の工夫、利用者のペースに合わせた盛り付けや食器拭きの共同作業が実践されている。		
26	54	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人の習慣、体調、要望に配慮し、臨機応変に支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴や心身の状況を把握し、利用者が自然な形でそれぞれの役割をもって張り合いや喜びのある生活が出来るよう配慮されている。		
28	58	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候に合わせた買い物やドライブ、散歩のほか、地域のイベントや行楽地に出かけ、その様子を写真展示している。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
29	62	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修会を通じて職員全員で取り組んでいるほか、ベッドにサークルを使用する等、禁止対象では無い行為でも家族へ説明し、同意を得ている。		
30	63	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間、玄関の施錠は行っているが、日中は職員の見守りにより鍵をかけないよう取り組んでいる。		
31	68	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけしている	町内会長を通じての回覧等により避難訓練参加の呼びかけを行っており、地域からの協力が得られている。防災訓練時には地域住民の参加を呼びかけ実際に訓練に参加してもらっている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取状況を記録して補食等、個々の状況に応じた支援をしている。		
33	75	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルの活用、勉強会、医院からの情報などにより時期にあわせた取り組みがなされている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
34	78	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の好みに応じてすごせるよう畳やソファが配置されている。自然光を取り込み、観葉植物や水槽が置かれているほか、季節に応じ壁掛けを変えるなど居心地よく過ごせる配慮をしている。		
35	80	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族とも相談して、使い慣れたものを持ち込んだり、本人の趣向に配慮した工夫をしている。		

 は、重点項目。